

仏師・位牌師が造る

アクセサリーの製作及び販売展開

平成25年度 採択事業

富田工藝

代表

富田

睦海さん



富田 睦海さん

「新たなモノづくりを試みる京伝統工房」

親子三代に渡り、京都で仏像、京位牌、寺院仏具、仏像修復などを手がけている工房。

東山・五条通りに面した町家建築の構えと格子戸の玄関も風情のある情感をかもし出しています。表通りからでも制作された仏像、工房作業が見えます。

中に入ると木の香りが漂い、気迫がこもった迫力ある仏像が迎えてくれます。



五条通りに面した工房

仏像が安置されている横には格式ある位牌。「お位牌は家系の宗派などで形も蓮華座をはじめ、台座の形も多種多様あります。注文に応じて金箔、漆塗り、蒔絵他技巧を重ね創っていますが、京位牌など最近は仏壇の小型化などでご利用が少なくなりつつありますね」と富田睦海さん。先祖を敬う精神が遠のいているのでしょうか。

工房の中で特に格調高い仏像は、一刻一刻と刻まれ、完成まで数ヶ月から数年かかるそうで、作業の息ぶきを感じることができます。



仏像を彫る富田さん

手づくりの京仏具はさまざまな工程を経て魂を吹き込まれます。

「体験見学のできる工房」

一般の人から、見るだけでなく彫刻を体験してみたいとの声を頂き、仏像彫刻教室等を始めました。伝統工芸品は繋がれてきた技術と歴史の重みで生まれる中、職人さんには、自分の技術を見せることを嫌う風潮がありますが、ここ富田工藝では体験見学もできます。工房が五条通りに面していることもあり、入りやすく親しみもある工房で、富田さんから丁寧に教えてもらうこともできます。もちろん海外の方々もOKです。「最近、海外、特に欧米の方々の見学が多くなっています」と富田さん。NHK、十字屋の教室等さまざまな分野で活躍されていて、窓口は大きく広くあけておられます。観光者も気楽に見学できます。仏教の事は知らなくとも仏像、位牌などの

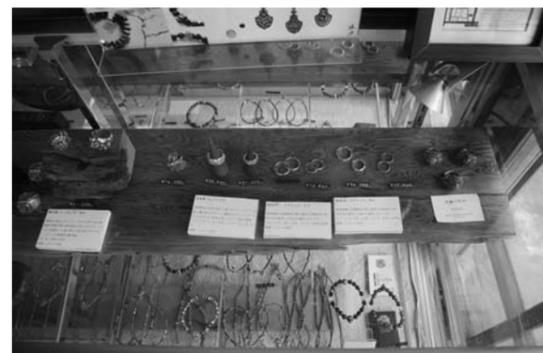
伝統製品の活用

ことを詳しく説明してくれます。

新分野への挑戦と飛躍

こういった京伝統の継承とともに、富田工藝さんの「これから目指す伝統工芸品としてのアクセサリー」。彫刻技術を派生させた仏教美術をモチーフとしたアクセサリーブランド「睦海」。仏像、位牌などからかけ離れたように思われますが、身につけられる信仰物の工芸品です。手にとって拝見しても世代関係なく選べるデザインで、上品で、身につけると心が癒されるようです。

店頭では、15,000円～50,000円ぐらいで並べられています。シルバーアクセサリー「睦海」ブランドは、ニューヨークで展示会を開催するなど、海外に展開され、京都の伝統産業の活性化に貢献しています。



シルバーアクセサリー

国内では、通信販売もてがけられており、「通信販売は5割～6割をしめています。」と、富田さん。欧米他海外からの注文も多いとのこと。仏師によって培われた伝統ある技巧による作品であるシルバーアクセサリーは、これからの時代に新たなブランド誕生として輝くものがあると思います。また、若手育成にも力をいれておられ、ブランドづくりにもますます熱が入るものと期待されます。

「未来にむかって」

ファンドの支援をうけて、今までのホームページを再構築し、仏像、位牌、寺院仏具制作などwebサイトをリリース。見やすく、分かりやすく、美しい画像で購入しやすくして、国内外に発信、京都の伝統を生かした新しいアクセサリーの浸透にと広報に努めています。また、「18金」を仕入れ、より高質なアクセサリー等ものづくりへとチャレンジしています。

最近、国内はもとより海外からの人達にも、京都の仏閣での結婚式が年々多く執り行われるようになりました。ご先祖さまに報告され結婚を誓う仏前結婚式では、数珠交換があり、臨済宗では「むつみの式」と呼ばれ、

偶然にもデザイナーの名称でもあります。

アクセサリーとしてではなく、癒しのもので身に付けていただいたら、特に若い人々に日本文化、歴史、仏さまへの関心を持っていただき、ひとりひとりに心やさしくフィットするはず。

「今後は、世界にひとつしかない誇れる京都の新ブランドとして、世界に羽ばたく京伝統の一環になるようにしたいものです。」と富田さん。腕輪念珠として拵がって、国内・世界へと多くの人々に、心穏やかに日々をおくっていただけるお守りとして身につけていただきたいとのこと。

「繋がり是国内にも」

富田工藝は、東日本大震災で被害に遭われた方々に心の癒しとして手作りのお地藏さまをいろいろな方々とともに彫り、被災地に贈る「わらべ地藏被災地プロジェクト」を平成23年5月に僧侶とともにスタート。現在も携わって、約3000体に及ぶお地藏さんが完成し、今後も他府県の被災地の方々の手にわたっていきます。

こうしたさまざまな試みの中で、彫りかけの一本に心をこめて彫る気迫ある富田さんの職人としての後姿は一心不乱そのものです。この若さと精神力で京都の伝統を守りつつ、本業を守り、技法を磨き、若手を育てながらの職人としての道は厳しく、険しいものとなります。ひとりひとりのご注文に応じ、(オーダーは店頭のみです)代々引き継がれた京仏師、京位牌の技巧による、身につける礼拝物としての新しいモノづくりへの挑戦が、より力となり、よりよいモノづくりを次世代に伝えることとなるでしょう。



制作された仏像や位牌

事業概要

富田工藝

http://www.tomita-k.jp

代表：富田 睦海

業種：仏具製造

創業：昭和10年頃

住所：〒605-0846 京都市東山区五条橋東2-36-3

TEL：075-541-0123 FAX：075-541-0123